



防災だより

(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。

9月1日は関東大震災が発生した日であり、また、暦の上では二百十日にあたり、台風シーズンを迎えることから、一人ひとりが地震・津波や台風などの災害について認識を深め、これに対処する心がまえを備えようというねらいで「防災の日」「防災週間」が創設されました。

関東大震災の発生から、今年で100年になります。過去の災害から学び、日頃の備えについて再確認しましょう。

● 日頃からの災害への備えについて確認しましょう。

- 1 緊急避難時持出袋の準備・確認
- 2 最低でも7日分の水や食料、生活用品の備蓄・確認
- 3 家具の固定・転倒防止の確認
- 4 避難場所や避難経路の確認
- 5 家族との安否確認手段の確認



◆ 災害時の連絡手段

大きな災害が起こると、家族や親せき、友人のことを心配して一度にたくさんの人が被災地域に電話をかけるので、一般加入電話、携帯電話はつながりにくくなります。

日頃から家族で話し合い、大規模災害時の安否確認方法、集合場所等を決めておきましょう。

安否確認手段の工夫

○遠方の親戚等を、あらかじめ緊急連絡先に決めておき、そこから他の親戚等に連絡してもらうと、被災地からの連絡は1回で済み、多くの親戚に連絡することができます。

○携帯電話が使えないことを想定して、重要な連絡先(電話番号、メールアドレス)は、紙に書いて、小銭と一緒に緊急避難時持出袋の中に入れておきましょう。

「災害用伝言ダイヤル(171)」

○大規模災害時に稼働するNTTの災害用伝言ダイヤルサービスで、被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。

